

令和5年度

学校関係者評価報告書

令和6年3月

山梨県立宝石美術専門学校

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長、保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価の結果に関する評価を行い、多くの貴重な御意見等をいただきました。

今後とも、学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、本校教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでく所存です。

### 1 学校関係者評価委員名

柳本	力	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	理事長
深澤	陽一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員長
後藤	晃一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
詫間	康二	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
鈴木	竜樹	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
井口	泰宏	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
今澤	賢一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
小池	浄	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会宝石学校委員会	委員
花田	智	氏	甲府商工会議所	事務局長
田代	剛久	氏	山梨県立甲府城西高等学校	校長
小澤	忠弘	氏	保護者	(後援会会長)
古屋	幸一	氏	山梨県産業労働部産業振興課	課長

### 2 評価委員会の実施

開催日 令和6年2月22日(木)

場所 宝石美術専門学校 8F 多目的教室

### 3 実施方法及び公表

評価委員会では、学校が実施した「自己評価」の結果及び活動状況、アンケート結果について事務局から説明。

その後、委員の皆様には、基準項目毎に次の4段階で評価をいただき、その平均値を記載。

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

なお、評価の観点は次の項目によるものとしました。

- ・自己評価の内容が適切か
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策などが適切か
- ・学校の重点目標や具体的方策などが適切か
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

これらを本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かして本校教育水準の向上に努め、またホームページ等に公表します。

#### 4 学校関係者意見・提案等

##### 【1. 教育理念等】

評価平均：3.6

現状の取組及び自己評価
<p>○教育理念、教育目標、教育方針は定められており、学生便覧、ホームページ等で公開し、周知を図っている。また、教職員に教育理念等は共有、徹底されている。</p> <p>○開校以来、より充実した教育内容を目指すと共に将来の方向を考慮した学校改革を行い、「専門知識・技術の高度化」や「国際化への対応」などを目指し取り組んでいるが、加速する少子化、これに伴う入学定員の確保などを踏まえ、引き続き本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、反映していきたい。</p> <p>○学則等は整備されており、改正が必要な場合にはその都度行うこととしている。</p>
学校関係者意見・提案
<p>○概ね教育理念等は周知されていると思います。ただ、自己評価の「育成する人材像は社会情勢や業界のニーズを踏まえている」の評価項目の数値が少し物足りなく感じました。ジュエリー業界は、ECサイトやフリマサイトの台頭、海外ブランドとの競合、物価高騰など、めまぐるしく変化していて、業界のニーズを的確に把握するのは難しいと推察しますが、業界との関係を密にしながら、教育活動に反映して行ってほしいと思います。</p>

##### 【2. 学校運営】

評価平均：3.7

現状の取組及び自己評価
<p>○教育活動等に関する情報は、ホームページやインスタグラムでの発信等で積極的に公開している。</p> <p>○危機管理マニュアル及び防災計画を更新、体制を整えるとともに、毎年度初めに防災訓練を実施し、学生への避難経路の周知及び防災意識の高揚に努めている。また消防法に規定する必要な設備を整えており、定期点検も実施している。さらに、防犯カメラ3台設置、出入り口のオートロック化、警察官立ち寄り所の認定、防犯講座の開催など新たな取組みを行った。</p> <p>○ホームページについては今年度改修し、スマホ対応となり、掲載内容についても更新を行った。</p> <p>○職場研修等を実施するなどして職員意識を醸成し、体制の整備を図っている。</p> <p>○教育理念等に沿った学校の取り組み方針は共有されている。</p> <p>○週1回行われる学科会議において議題として取り上げ、組織的な意思決定がなさ</p>

れており、学校運営は有効に機能している。  
○情報システムを導入し業務の効率化が図られている。

#### 学校関係者意見・提案

- 今まで以上に組合としても全力で協力するので、ともに手を取り合って生徒と業界の発展に向けて考えていきたい。  
2～3か月に一度位、組合と学校との近況報告会(オンライン)などを行えると、業界の変化や今後、目指すべき方向性などのヒントがつかめるように思う。
- これまで、学生、教師、保護者と直接関わる機会が少なかったため、学校の内情について詳しくは知りません。しかし、アンケート結果を見る限り、教師と生徒が協力して学校をよりよい場所にしようとしている意向があることが伺えます。
- ホームページが大きく改善され、大変見やすくわかりやすくなったと感じました。
- 学校のホームページの改修については、わかりやすい内容にリニューアルされていた。

### 【3. 教育活動】

評価平均：3.5

#### 現状の取組及び自己評価

- 教育理念等に沿ったカリキュラムを策定し、必要な学習時間を確保するとともに、シラバスに目標、内容を明示している。
- カリキュラム編成時に、教育到達レベル確保のための学習時間を設定している。
- 授業ごとの指導教員数は確保されている。
- 学生が就職を希望する職種(業務)に向けて、高度な技能の習得が可能となるよう選択科目を設置、高度な技術を有する外部講師を招聘し指導を充実させている。
- 企業研究の一環としてインターンシップは業界と連携して実施している。  
今年度は受け入れ企業を増やすことができた。
- 高度な技術を有する職人を非常勤講師として招聘し、産地の特質を生かした指導を充実させている。
- 教員はシラバスに基づき授業を実施している。
- 教育の目標実現のため十分な要件を備えた教員を確保している。
- グローバル化に対応するカリキュラムを設定・実施している。
- (YJMは、)今年度、開館10周年、入場者20万人を達成するなど本県ジュエリー産地の発信拠点となっている。

- （成績）基準は規程等に定めており、それに基づいて職員会議で判定を行っている。
- 市場や業界の状況を勘案し、毎年度カリキュラムの作成、見直しを実施している。
- 自己研鑽だけでなく多様な研修等を受講し、能力向上に努めている。

#### 学校関係者意見・提案

- 現代ジュエリーマーケットは、「伝える力」が重要とされます。  
作品の魅力を上手に伝えることができれば、(卒業制作で)受賞されなかった作品の評価はもっと高かったのではと感じました。
- ブランディングなどの勉強を強化できたらと思いました。
- 高度な技術を有する職人の指導を受けられることは、生徒にとって大変有益だと感じます。ただ、すべての評価項目の中で、「グローバル化に対応した教育を実施している」が、2.7と評価が最も低くなっています。グローバル化に対応したカリキュラムになっていないのなら、速やかに検討する必要があると思います。
- 卒業生の受け皿となる企業と連携し、地域に求められる人材の育成に取り組んでもらいたい。新たなスキル（デジタル）の習得も積極的にカリキュラムとして取り入れてもらいたい。
- 県内唯一の（ジュエリー関連の）専門校として、県内への就職率を高めるような取り組みを進めてもらいたい。
- 求人の掲示板も業務内容、業種分けずにただ掲示するだけでなく、まず宝飾業界とその他でスペースを分けるべきだし業界内ではどのような求人を希望しているのかある程度細かく分類、掲示して、学生-企業 mismatches をできるだけ少なくする工夫して効率よい就職活動をアシストする必要がある。当然企業からの働きかけアピールが必要なことは充分承知はしているが零細事業者にそこまでテクニカルなことを要求するのは難しい。
  - ・求人掲示板の整備
  - ・求人票のテンプレートの工夫（どのような求人を希望しているのかピンポイントで分かるような求人票）
  - ・加工現場当事者との交流会の開催（青年部の交流会の加工職分会のような感じ）
  - ・県内企業就職者へのサポート（県外者、外国籍向け）
  - ・卒業生早期退職者情報の開示（即戦力候補の需要は新卒と同様常にある）コロナ明け業績を持ち直している会社が多い。業界の高齢化、職人不足を改善するラストチャンスだと思う。

【4. 学習成果】

評価平均：3.7

現状の取組及び自己評価
<p>○学生に業界への就職を働き掛けると共に、学校において企業説明会の開催、ジュエリー協会青年部との交流会などを実施し、関係業界への就職率の向上に務めている。就職率は100%。</p> <p>○検定、試験等の合格率の向上のため担当教員が連携して組織的な指導体制を組んでおり、毎年一定の合格者を出しているが、今後も合格率向上に努めていきたい。特に技能五輪全国大会では昨年の銅メダルから銀メダルに躍進するなど成果が現れた。</p> <p>○休学者等は、体調不良や成績不振、また退学者は体調不良や進路変更などが要因となっており、各担任及び事務局が個別にきめ細やかな対応をするとともに、教職員間で情報共有し、未然防止に努めている。</p> <p>○今年度、ジュエリー協会にも御協力頂き、卒業生の在籍調査を行った。今後の教育活動の改善に活かしていきたい。</p>
学校関係者意見・提案
<p>○製造のレベルも高くなったと感動している。</p> <p>○卒業制作は、毎年レベルが上がっているように感じる。 作品をプレゼンして自ら伝えることは、今後も役立つと思う。 賞は、もう少し枠を多くしてはと思う。</p> <p>○技能五輪全国大会で銀メダルは素晴らしい成果だと思います。</p>

【5. 学生支援】

評価平均：3.7

現状の取組及び自己評価
<p>○学生に対して公平、平等に対応している。</p> <p>○各担当だけでなく教員間で情報共有し、学習に関する支援を実施している。</p> <p>○学生への情報提供、個別相談等に加え、企業研究を通し就職活動を支援している。</p> <p>○各担任だけでなく教員間で情報共有し、相談に適切に対応できるよう努めている。</p> <p>○積極的に声掛けするなど、学生の学習面や健康面等の状況把握に努めている。</p> <p>○日本学生支援機構の奨学金や、授業料減免の規定により遺漏ないように対応している。</p> <p>○危機管理マニュアルを策定しているほか、保健室の設置、年度当初の健康診断、学校医との連携に加え、カウンセラーを配置し、相談に対応するなど適切に対応している。</p>

- 紙媒体や学内への掲示のほか、随時一斉メール等により情報提供している。
- 自治会活動やクラブ活動において担当教員を選定し、適切に支援している。
- 必要に応じて保護者と連絡を取り、本人にとってより良い方へ向かうよう務めている。

学校関係者意見・提案

- 環境も整備されており、生徒の意欲も高まってきたと感じている。
- 自己評価や学生へのアンケートからみて、手厚い支援がなされていると感じました。

【6. 教育環境】

評価平均：3.6

現状の取組及び自己評価

- 設備は計画的に更新をできるように、予算要求を行い教育上の必要性に応えることとしているが、予算化が困難な場合には、見直しを行い対応することとしている。
- 実習環境は現在のカリキュラムに対応できるよう整備されている。
- 今年度図書室内の大幅な環境整備を実施し、学生が活用しやすくなった。
- 教室は申請により授業外に開放しているほか、交流スペースではインターネット接続が可能な環境が整備されているなど、自主的な学習をサポートしている。

学校関係者意見・提案

- 教室に入る機会があり、いくつか気になる点がありました。特に金床のさびや、精密機器（ノギス、リユータなど）がヤスリやヤスリ粉と同じ場所に置かれていることが目につきました。精密機器が粉まみれになると精度が狂い、せつかくの作品が、台無しになる可能性があります。（少し前のことなので改善されているとは思いますが）  
整理整頓された環境は、質の高い仕事に不可欠です。また、道具の適切な管理も同様に重要です。質の高い成果を提供する会社では、整理整頓、道具の適切な扱い方、および設備の整備が徹底されていることが共通しています。これらの基本的な原則を守ることで、会社に就職してから効率的な作業環境を維持し、高品質のサービスや製品を顧客に提供することが可能となります。
- 充実しているものと思います。



現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ、インスタグラム、学校案内、募集要項などにより広く情報提供するとともに、オープンキャンパスや学校訪問などにより周知を行っている。</li> <li>○担当職員（高校教員 0B）が学校訪問を実施し、本校の実績等の情報を提供するほか、各学校の合同説明会に参加するなど、情報の提供を行っている。</li> <li>○6月に全国のデザイン系、美術系、総合学科の高校（約700校）への学校案内等を送付しているほか、長野県・静岡県の高校へは随時イベント等の情報提供に加え、今年度は、静岡県の高校を中心に高校を訪問し募集活動を行った。</li> <li>○（学校案内は）学習の流れから講師陣、施設設備、ライフスタイルなど、学生が必要とする情報を毎年工夫しながら掲載している。今年度はより広く配布するために、簡易版も作成した。</li> <li>○本年度は、実技体験を含むオープンキャンパス5回、リモート説明会4回、合同説明会、個別の学校案内などにより、本校受験の契機となるよう努めた。3月にもオープンキャンパス等を予定している。</li> <li>○資格取得等の情報はオープンキャンパスを初めとする募集活動において提供している。</li> <li>○（オープンキャンパスは）高校の進路指導の時期等を勘案する中で、実施可能な回数を設定している。</li> <li>○新たに作成した簡易版の学校案内を広く配布（県人会等）、また、高校に出向いての出張授業の実施や高校から来校してもらい、講義を受けるなど新たな取り組みを行った。</li> </ul>
学校関係者意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな試みを積極的にするなど、御苦労されている様子が伺えます。宝飾産業は地場産業であり、山梨県は日本の宝石業界を牽引していくための人材を育成しているといっても過言ではないと思います。山梨のジュエリー産業の魅力の発信源になることは、学生募集に直接つながるように感じます。今後も山梨の産業として全国・全世界へアピールしてほしいと思います。</li> <li>○山梨県の地場産業を広く知ってもらい、県外の方にも情報を共有することで、幅広い学生を募集できるのではないかと思います。今後は、学生の進路もより選択肢が増えてくるので、興味のある学生に届く工夫があると、人材育成の強化にもなるのではないのでしょうか。</li> <li>○学生募集にかかる入学者の確保について、複数の入学辞退者を想定し、入学者数が、定員を下回らないよう、合格者数の決定に努めていただきたい。</li> </ul>

## 【8. 法令等の遵守】

評価平均：3.8

現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係法令、専修学校設置基準等を遵守し学校運営を行っている。</li> <li>○個人情報保護に関する法令等を教職員へ周知し、遵守し対応している。</li> <li>○自己評価を実施し、結果をホームページで公表している。</li> <li>○外部関係者による学校関係者評価を実施している。</li> </ul>
学校関係者意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特に問題ないと感じましたが、残念ながら今年度も、県内の教職員が法令違反を犯し、処分を受けました。他人事と捉えず、引き続き法令遵守の風土作りに努めてほしいと思います。</li> </ul>

## 【9 社会貢献・地域貢献】

評価平均：3.4

現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○夜間講座の見直しを検討している。</li> <li>○韃祭りや宝美祭への地域商店街代表、地元百貨店の代表、山梨中央銀行の代表、ジュエリー協会・水晶美術彫刻組合の代表、甲府商工会議所などからの参加などがあった。また、甲府商工会議所と連携し、ジュエリーウイークのウエルカムタペストリーの制作も行った。</li> <li>○山梨中央銀行本店北側の展示スペースに展示をするなどの取り組みを行っている。また、新たに、岡島百貨店のクリスマスツリーオーナメントをコラボするなど実施した。</li> <li>○休憩時間、部活動、来客対応など幅広く活用されている。</li> <li>○ボランティア活動を奨励している。</li> </ul>
学校関係者意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナが5類に移行したことによって、学生のボランティア活動も奨励しやすくなったと思います。身に付けた技術を活かしてボランティア活動ができれば、学生にとってもやり甲斐を感じるだろうし、地域の方々へのPR効果も期待できるのではないのでしょうか。</li> <li>○夜間講座を継続するのであれば、誰のために、どのような内容を行うことが良いのかりサーチして、効果のある形にしなければいけないと思います</li> <li>○高度技術専門コースの見直しについて、世の中のリスクリング（学び直し）などの動きも踏まえ、同コースが有効に機能するよう引き続き検討いただきたい。</li> </ul>